

3 仕事と収入の確保 ～経済の自立～

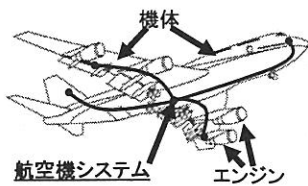


【基本目標3】
地域の資源・人材を活かした産業構造を構築することにより、仕事と収入を確保します。

主な取組 成果

(1) 経済構造の転換

- 「長野県航空機産業振興ビジョン」を策定（H28年5月）し、航空機産業への参入を支援



- 世界と競争できる「世界水準の山岳高原リゾート」を目指した「観光地域づくり」の推進
独自の価値（山岳高原）を活かした観光地域づくりに向け「観光地域づくり推進方針2017」を策定

- | | |
|-----|-------------|
| 方針1 | 推進体制強化 |
| 方針2 | 発信力強化 |
| 方針3 | 観光投資促進 |
| 方針4 | 人材育成確保 |
| 方針5 | インフラ・受入環境整備 |

- 「アジアの航空機システム拠点」形成
 - ・人材育成、研究開発、実証試験までの一貫体制構築
 - ・航空機産業参入企業100社の集積（H32目標）

- 全庁を挙げた観光振興に向け、「長野県観光戦略推進本部」を設置（H28年6月）
- 観光地域経営を担う舵取り役としての県DMOの構築
 - ・（一社）信州・長野県観光協会が、DMO候補法人として登録（H28年2月）
 - ・名称を（一社）長野県観光機構と改め、本格的なDMO化に向けてスタート（H28年7月）

主な取組

成果

(1) 経済構造の転換

- 長野が誇る「シナノゴールド」イタリアでライセンス栽培
平成28年3月イタリアでの大規模栽培に向け「品種シナノゴールド及び商標に関するライセンス契約」を締結



シナノゴールド

- ジビエといえば“信州”を目指して

- 安全安心** 信州産シカ肉認証制度 (H26年2月創設)
安全、安心な獣肉を安定的に供給
- 消費拡大** ブランド力強化
- 人材育成** 信州ジビエマイスターの養成

- 平成28年11月 南チロルボルツァーノ開催のりんごに関する国際見本市「インターポマ2016」で品種「シナノゴールド」の商標yello®を広くPR



南チロル
イタリア北部に位置し、標高200~1,000mでりんごを栽培

- シカ肉処理施設3施設を認証し、統計開始依頼最高の26.8tを生産 (H28年3月末)
- JR東日本と連携した信州ジビエフェアの開催 (H28年11月~29年2月) 首都圏にもジビエをPR
- 適切な処理でおいしいジビエ料理を提供できる調理人等の養成 91名養成 (H28年3月末)



「信州ジビエフェア」キックオフイベント

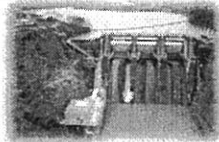
主な取組

成果

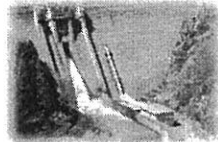
(1) 経済構造の転換

- しあわせ信州食品開発センター (H27年4月設置) による新食品開発支援

- 新規発電所 (高遠さくら、水芭蕉発電所) の建設 (H29年4月稼働) 及び大都市への売電



高遠さくら発電所



水芭蕉発電所

- 県営発電事業の利益による自然エネルギー地域基金の創設
- 収益納付型補助金による自然エネルギー事業の創出支援 (H27年度~)

- 長野県の強みを生かした高付加価値食品を創出 152件 (H27年4月~H29年3月)



【支援事例】

- ・千曲市のアンズを原料としたジャム、シロップ漬け。
- ・試作加工室を利用し試作、製造を行い、テスト販売を実施した上で商品化。(6次産業化支援)

- 新規発電所の電気を「信州発自然エネルギー」として大都市の需要家に売電
⇒大都市との未来志向の連携により、地方創生に寄与
- ・売電先 : 世田谷区立保育園(41園)、大阪・名古屋の企業等
- ・発電量 : 6,316千kWh増(約1,750世帯分)
- ・年間利益 : 約8,500万円(一部を地域貢献に活用予定)
- 自然エネルギー地域基金の活用
⇒県営発電事業の利益を繰出し (H26~28総額5億円)
⇒自然エネルギー発電事業を支援 18件 (H28年度末累計)

(2) 経済の自立的発展を支える担い手の確保

○県出身学生の地元就職促進の取組

イベントに参加するUターン
就職促進協定締結校の学生



○次世代のものづくり産業を支える
若者を育成する「信州ものづくり
未来塾」の開催(H28.4~)

(主な実施講座)

時計組立、光学機器組立、建築大工、
かわらぶき、左官、茅葺、信州紬、
飯山仏壇(彫刻)、フラワー装飾
洋菓子製造、みそ製造 etc



○県出身学生の多い大学とのUターン
就職促進協定の締結

協定締結校

3校 (H22) → 41校 (H28)

○ジョブカフェ信州「銀座サテライト」
(H28年10月開設) 利用者数 125人

○ポータルサイト

「シューカツNAGANO」を開設

(H29年3月)

長野県に戻って就職を希望する学生に
対して県内企業情報や就活イベント
情報などを提供

○信州ものづくりマイスター等による
キャリア教育を実施

小・中学校、高等学校等で

86講座 1,659人受講 (H28年度)

数値目標の進捗状況

*進捗区分 ●「A」: 目安値以上 ●「B」: 80%以上100%未満の進捗
●「C」: 80%未満の進捗 ●実績値なし: 今年度実績値が把握できない
・進捗割合=(実績値-基準値)/(目安値-基準値) ・目安値: 各年の目標値

労働生産性	年度	単位	基準値 (H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	目標 (H29年度)
県民経済計算 (企画振興部) 【備考】 全産業の県内総生産 (実質)を県内就業者 数で除した数値 [H31年度の実質経済 成長率2%を目標に設 定] 注) 県民経済計算の結果が2年遅れで公表	目安値	千円/人		8,054	8,095	8,137	8,178	8,220
	実績値		7,866 (8,012)	8,039 (8,077)	8,084			
	進捗区分			A	B			

※実績値の()内は、労働生産性の算出基礎となる県民経済計算の遡及改定前の値により算出した値

就業率	年度	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	H30年	目標 (H31年)
労働力調査モデル推計 値 (総務省統計局) 【備考】 15歳以上人口に占める 就業者数の割合[過去5 年間の1位の数値の平 均値をもとに設定]	目安値	%		59.6	59.7	59.8	59.9	60.0
	実績値		59.5	60.4	60.6			
	進捗区分			A	A			

進捗状況の分析

- 「労働生産性」については、算出基礎となる県民経済計算が遡及改定され、基準値が目標設定時よりも低く算出されたため目安値には達しませんでした。前年値を上回り概ね順調に推移しています。
- 「就業率」については、目安値を上回り、全国順位も昨年の第5位から第4位に上昇するなど順調に推移しています。
- 引き続き、地域の資源・人材を活かした経済構造への転換、経済の自立や発展を支える担い手の確保に向けた施策を推進します。

重要業績評価指標(KPI)の進捗状況

※進捗区分 ●「A」:目安値以上 ●「B」:80%以上100%未満の進捗
 ●「C」:80%未満の進捗 ●実績値なし:今年度実績値が把握できない
 ・進捗割合=(実績値-基準値)/(目安値-基準値) ・目安値:各年の目標値

指標名	年度	単位	基準値 (H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	目標 (H29年度)
製造業の労働生産性 県民経済計算(企画振興部)	目安値	千円/人		12,054	12,265	12,477	12,688	12,900
	実績値		11,479 (11,842)※	11,876 (12,135)※	12,578			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 引き続きものづくり産業振興戦略プランに基づき、次世代産業の創出や有望市場の開拓、戦略的な企業誘致や産業人材育成などに取り組み、稼ぐ力の向上を図ります。 ※実績値の()内は、労働生産性の算出基礎となる県民経済計算の遡及改定前の値により算出した値						
指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	H30年	目標 (H31年)
鉱工業生産指数 長野県鉱工業指数(企画振興部)	目安値	-		94.6	95.7	96.8	97.9	99.0
	実績値		93.5	90.4	91.4			
	進捗区分			C	C			
	現状分析・今後の取組	(現状分析) H28年は、H27年と比べ1.1%増となり、雇用環境の改善や為替相場が円安傾向となった年後半を中心に緩やかに持ち直しの動きが見られています。電気機械、食料品工業で増加しているものの、電子部品・デバイス工業は引き続き生産、出荷ともに低下しており目安値には達しませんでした。 (今後の取組) 航空機産業や食品産業など、県内産業の強みを活かした成長期待分野への転換支援や新たな産業の創出を図るとともに、有望市場の開拓、産業人材の育成・確保などに取り組み、足腰の強い県内産業の確立を図ります。						
指標名	年	単位	基準値 (H25年)	H26年	H27年	H28年	H29年	目標 (H30年)
加工食品の輸出額 (産業労働部調)	目安値	億円		27	35	43	51	59
	実績値		18.8	29	31.4			
	進捗区分			A	C			
	現状分析・今後の取組	(現状分析) H27年(速報値)では、円安基調にあり昨年に比べ輸出額が増加したものの、目安値には達しませんでした。 (今後の取組) 海外における食品見本市や長野フェア等への出展支援を行うとともに、ネットワーク会議での情報共有により官民の連携を強化し、県内企業の輸出を促進します。						
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
実用化等成果事例件数 (産業労働部調)	目安値	件 (累計)		40	80	120	160	200
	実績値		32	46	8月下旬			
	進捗区分			A				
	現状分析・今後の取組	(実績値判明後、記載)						

指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
窓口支援担当者による知財相談対応件数 (産業労働部調)	目安値	件 (累計)		1,600	3,200	4,800	6,400	8,000
	実績値		1,762	1,799	3,631			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 引き続き、新技術・新製品開発の成果として得られた特許や、 県内企業が保有する優れた知的財産等の保護・活用を支援します。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
企業の技術相談件数 (産業労働部調)	目安値	件		17,447	17,585	17,723	17,862	18,000
	実績値		17,309	18,161	18,347			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 引き続き、企業の技術課題解決に積極的に取り組みます。					
指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	H30年	目標 (H31年)
農業の単位面積当たり生産性 (農政部調)	目安値	万円/ha		257	258	259	260	261
	実績値		256	268	8月下旬			
	進捗区分			A				
	現状分析・今後の取組		(実績値判明後、記載)					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
担い手への農地利用集積率 (農政部調)	目安値	%		46	50	53	56	58
	実績値		41	41	8月下旬			
	進捗区分			C				
	現状分析・今後の取組		(実績値判明後、記載)					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	目標 (H29年度)		
農産物等の輸出額 (農政部調)	目安値	千円		200,430	315,700	500,000		
	実績値		206,000	386,170	8月下旬			
	進捗区分			A				
	現状分析・今後の取組		(実績値判明後、記載)					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	目標 (H29年度)		
6次産業化事業計画認定件数 (農政部調)	目安値	件		92	93	94		
	実績値		91	91	93			
	進捗区分			C	A			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 「信州6次産業化推進協議会」を中心に、研修会の開催や相談 対応等により、6次産業化を目指す事業者を支援します。					

※H30年度以降の目標値は次期農業農村振興計画策定にあわせて設定

※H30年度以降の目標値は次期農業農村振興計画策定にあわせて設定
予定

指標名	年	単位	基準値 (H25年)	H26年	H27年	H28年	H29年	目標 (H30年)
林業における労働生産性 (林務部調)	目安値	m ³ /人日		5.22	5.29	-	-	全国平均 以上
	実績値		3.72	3.82	4.10			
	進捗区分			C	C			
	現状分析・今後の取組	<p>(現状分析) 路網整備や機械導入などの条件整備が進んだことにより平成26年度より生産性は向上したものの、間伐と比べて労働生産性の高い主伐[*]の事業量が少なかったことから、目安値に達しませんでした。 ※主伐とは、利用期に達し成熟した立木を、収穫するために伐採すること。</p> <p>(今後の取組) 労働生産性は着実に向上していることから、引き続き路網整備や機械導入などの条件整備を進めるとともに、低コスト一貫作業システム導入によるコスト縮減などにも取り組むことにより目標達成を目指します。</p>						
指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	H30年	目標 (H31年)
素材(木材)生産量 木材統計(農林水産省) 木質バイオマスエネルギー利用動態調査等(林務部調)	目安値	千m ³		600	605	610	655	700
	実績値		437	501	8月下旬			
	進捗区分			C				
	現状分析・今後の取組	(実績値判明後、記載)						
指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	H30年	目標 (H31年)
高性能林業機械保有台数 (林務部調)	目安値	台		318	332	346	360	375
	実績値		288	303	-			
	進捗区分			C	実績値なし			
	現状分析・今後の取組	<p>(現状分析) 国調査の公表が3月の予定のため実績値はありませんが、前年度の増加台数や林業事業者の人材育成や事業規模拡大には一定の時間を要することを踏まえると、目安値には及ばない見込みです。</p> <p>(今後の取組) 林業生産性の向上には高性能林業機械の導入が不可欠であることから、導入に対する支援や林業労働財団等からのレンタルにより保有台数の増加を推進します。</p>						
指標名	年度	単位	基準値 (H25年度)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H30年度)
雇用保険適用事業所開業率 雇用保険事業年報(厚生労働省)	目安値	%		3.74	4.01	4.27	4.54	4.81
	実績値		3.47	3.81	3.97			
	進捗区分			A	B			
	現状分析・今後の取組	<p>(今後の取組) 引き続き、相談窓口での対応や学生を対象にしたアントレプレナー育成事業を実施します。また、今年度新たに民間事業者のノウハウを活かした各種創業セミナー・イベントを開催し、県内の創業機運を高め、開業率の向上につなげます。</p>						

指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
創業支援資金利用件数 (産業労働部調)	目安値	件		720	1,440	2,160	2,880	3,600
	実績値	(累計)	741	896	1,999			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 金融機関、ながの創業サポートオフィス等、関係機関の窓口で資金に関する利用方法を周知し、引き続き利用の円滑化を促進します。						
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
ながの創業サポートオフィス 相談件数 (産業労働部調)	目安値	件		500	1,000	1,500	2,000	2,500
	実績値	(累計)	221	415	924			
	進捗区分			C	B			
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 県主催のセミナー・イベントに相談員が積極的に出かけ、出張相談を実施します。また、コワーキングスペースとの連携をさらに進めるとともにFacebook等を活用して引き続き「ながの創業サポートオフィス」を周知します。						
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
事業引継ぎ支援センター相談 件数 (産業労働部調)	目安値	件		400	800	1,200	1,600	2,000
	実績値	(累計)	302	463	1,019			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 東京と名古屋での転職フェアへの出展に加え、事業承継促進セミナーを県内外で開催するほか、県内でラジオCMを流し、引き続き事業承継、後継者バンクを周知します。						
指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	H30年	目標 (H31年)
観光消費額 観光入込客統計(観光庁)	目安値	億円		6,768	6,971	7,180	7,396	7,618
	実績値		6,571	7,410	7,320			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 「信州デスティネーションキャンペーン」等の機会を最大限活用した魅力発信と全国からの誘客促進及び滞在拡大を図ります。						
指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	H30年	目標 (H31年)
延べ宿泊者数 宿泊旅行統計調査(観光庁)	目安値	万人		1,844	1,899	1,956	2,015	2,075
	実績値		1,790	1,921	1,780			
	進捗区分			A	C			
	現状分析・今後の取組	(現状分析) 全国の延べ宿泊者数が減少となる中、本県もH27年に開催された善光寺御開帳等の大型イベントの反動減や天候不順等の影響により、目安値に達しませんでした。 (今後の取組) 「信州デスティネーションキャンペーン」等の機会を最大限活用した誘客促進及び滞在拡大を図るとともに、県DMOを中心とした山岳高原観光地域づくりに取り組みます。						

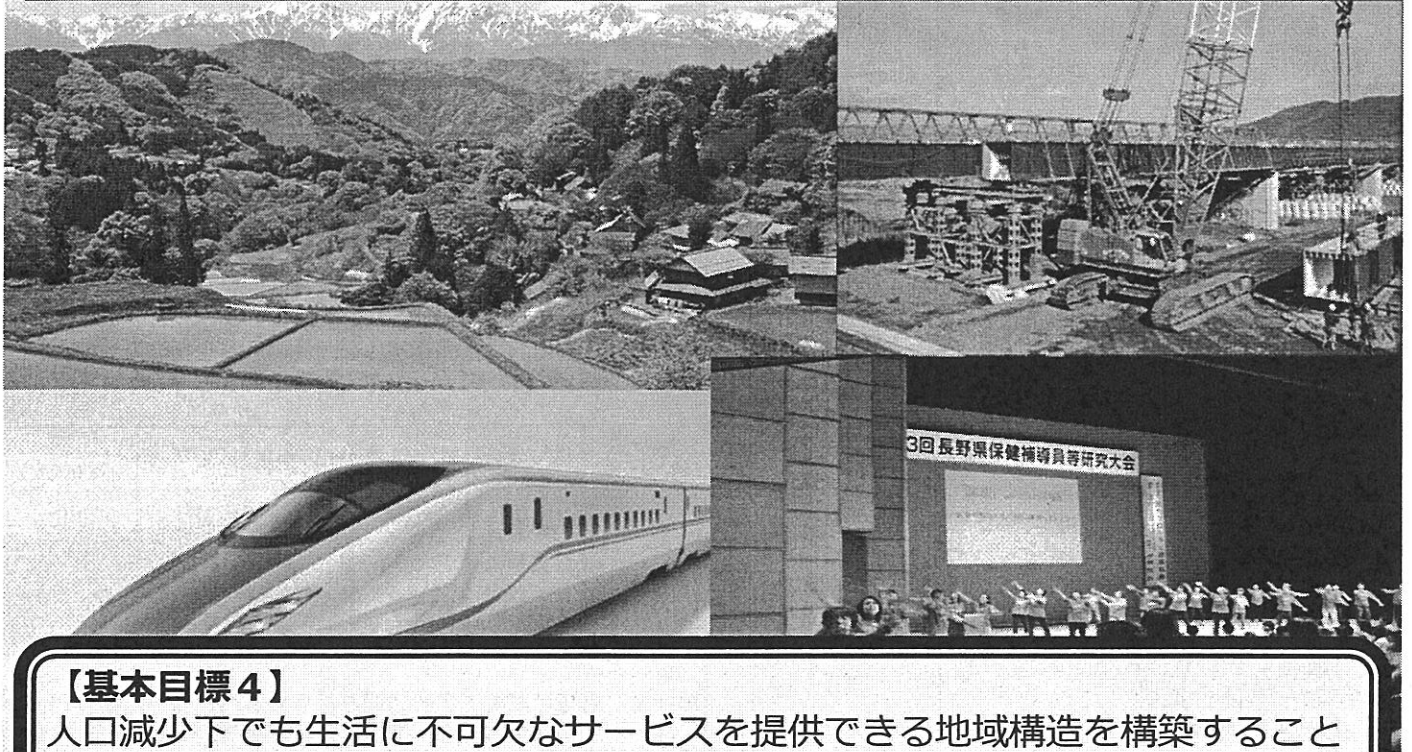
指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	H30年	目標 (H31年)
外国人延べ宿泊者数 宿泊旅行統計調査(観光庁)	目安値	万人		92.8	119.6	146.4	173.2	200
	実績値		66	94.7	116.5			
	進捗区分			A	B			
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) これまでの東アジアや東南アジアといったターゲットに加え、欧米市場や新興市場(フィリピン、ベトナム)でのプロモーション活動を進め、現地の主要旅行会社等との連携を強化しながら、引き続き、外国人旅行者の誘客拡大を図ります。						
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
発電設備容量でみるエネルギー自給率 (環境部調)	目安値	%		86.0	93.0	100.0	108.0	116.0
	実績値		78.9	80.3	9月			
	進捗区分			C				
	現状分析・今後の取組	(実績値判明後、記載)						
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
原産地呼称管理制度認定製品の認定品数 (産業労働部調)	目安値	品		304	309	315	321	330
	実績値		300	297	288			
	進捗区分			C	C			
	現状分析・今後の取組	(現状分析) 事業者の新規申請が増えないため、認定品数が伸び悩んでいます。 (今後の取組) 事業者の参加を促すため、申請書類の簡素化など申請しやすい環境づくりに努めるとともに、認定メリットが実感できるように消費者への制度PRを強化します。						
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
新食品開発支援件数 (産業労働部調)	目安値	件		35	39	42	46	50
	実績値		31	35	45			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 「しあわせ信州食品開発センター」を活用した付加価値の高い食品開発・試作を積極的に支援します。						
指標名	年度	単位	基準値 (H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	目標 (H29年度)
第3次産業の労働生産性 県民経済計算(企画振興部)	目安値	千円/人		7,700	7,707	7,715	7,722	7,730
	実績値		7,583 (7,692)※	7,622 (7,655)※	7,459			
	進捗区分			C	C			
	現状分析・今後の取組	(現状分析) 全国の第3次産業の労働生産性は低下(H25 7,608千円/人 → H26 7,520千円/人)しており、当県でも、不動産業を除き、各業態で低下しています。特に全国の水準より低い情報通信、運輸、卸売・小売を中心に全体の底上げが必要です。 (今後の取組) 平成27年3月に策定した「長野県サービス産業振興戦略」について、過去の実績や成果を踏まえて見直しを行い、第3次産業の生産性向上を目指します。 ※実績値の()内は、労働生産性の算出基礎となる県民経済計算の遡及改定前の値により算出した値						

指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
おためし移住件数 (産業労働部調)	目安値	件 (累計)		8	20	32	44	56
	実績値		-	8	19			
	進捗区分			A	B			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 首都圏等のIT人材や企業に対して、県内で生活し働く「おためし」の機会を提供する「ときどき&おためしナガノ」を継続することで、首都圏等からのITを中心としたクリエイティブ人材や企業の移住・拠点開設の素地を作ります。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
子育て期に再就職した女性 (産業労働部調)	目安値	人 (累計)		200	400	600	800	1000
	実績値		-	477	1,053			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 就業相談やセミナーなどの支援のうち、就職につながる効果が高い、短期インターンシップによる支援を強化し、引き続き希望に応じたきめ細やかな支援を実施します。					
指標名	年度	単位	基準値 (H27年度)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標 (H32年度)
県内出身学生のUターン就職率 U・Iターン就職状況等に関する調査 (企画振興部・産業労働部調)	目安値	%		39.4	40.8	42.2	43.6	45.0
	実績値		38.0	37.8	-			
	進捗区分			C	実績値なし			
	現状分析・今後の取組		(現状分析) 大学生等の就職内定率が年々高まるにつれて、Uターン就職率は低下傾向にあり、目安値の達成が困難であることが想定されます。なお、平成28年度の内訳では、Uターン就職促進協定校出身学生のUターン就職率は40.8%と、その他学生の36.7%を上回っており、取組の成果が伺えます。 (今後の取組) Uターン就職促進協定校との連携を始め、平成28年度末に開設したポータルサイト「シューカツNAGANO」による学生や保護者に対する情報発信、県外学生の県内企業でのインターンシップ参加に係る経費の助成、学生と企業との出会いの場の創出の取組等を通じて、県内企業の魅力の理解促進を図り、Uターン就職の促進に取り組みます。					
指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	H30年	目標 (H31年)
法定雇用率適用企業で雇用される障がい者数 長野県内の「障害者雇用状況」の集計結果(長野労働局)	目安値	人		5,730	6,010	6,300	6,580	6,864
	実績値		5,448	5,603	5,804			
	進捗区分			C	C			
	現状分析・今後の取組		(現状分析) ハローワークを通じた障がい者の就職件数は、7年連続で過去最高を更新しているものの、精神障がい者の雇用に対する不安など、企業側の理解が十分に進んでいない状況があり、そのため目安値には達しませんでした。 (今後の取組) 平成30年度から、精神障がい者が新たに法定雇用率算定の対象となりますが、企業側の不安も大きいため、障がい者の雇用応援減税のPRや労働局と連携した事業所への働きかけを行うとともに、障がい者と企業の出会いの場創出事業によるセミナー等を通じて積極的に企業の理解促進に向けた取組を進めます。					

指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	H30年	目標 (H31年)
70歳以上まで働ける企業の割合 高年齢者の雇用状況(厚生労働省)	目安値	%		23.3	24.2	25.1	26.0	27.0
	実績値		22.4	24.0	24.4			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 人生二毛作社会の仕組みづくりの推進等により、高齢者が元気で働ける気運の醸成や雇用の促進に取り組みます。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
事業活動に農業を取り入れている障がい者就労施設数 (健康福祉部調)	目安値	施設		107	120	134	147	160
	実績値		94	105	115			
	進捗区分			B	B			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 引き続き、農業者と障がい者就労施設との仲介や農作業の技術指導を行うサポーターの派遣等を行い、農業に取り組む就労施設の更なる増加を図ります。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
職業能力開発施設卒業生の県内就職率 (産業労働部調)	目安値	%		88.0	88.5	89.0	89.5	90.0
	実績値		87.5	85.1	87.7			
	進捗区分			C	C			
	現状分析・今後の取組		(現状分析) 県が運営する職業能力開発施設について、多くの訓練科で県内就職率は向上しましたが、県外出身者の多い木工系の分野で県内就職率が低下し、全体として目安値に達しませんでした。 (今後の取組) 県内企業との面接会やインターンシップの強化に加え、県外出身者の多い木工系の訓練科については、地元市町村や関係機関との連携を密にし県内就職率向上に取り組みます。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
県内専門学校卒業生の県内就職率 (県民文化部調)	目安値	%		87.8	88.3	88.9	89.4	90.0
	実績値		87.2	81.6	84.2			
	進捗区分			C	C			
	現状分析・今後の取組		(現状分析) 看護、福祉など資格養成を目的とする専門学校は高い県内就職率を維持していますが、衛生、文化・教養、商業実務分野での県内就職率が下がり、全体として目安値に達しませんでした。 (今後の取組) 「職業実践専門課程」の認定促進や、長野県で暮らし、働く魅力の発信を関係部局が連携して行うことなどにより学生の県内企業への関心を高め、県内就職率の向上を図ります。					

指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	H30年	目標 (H31年)
一般労働者の総実労働時間 毎月勤労統計調査(厚生労働省)	目安値	時間/人		2,032	2,029	2,026	2,023	2,020
	実績値		2,035	2,030.4	2,031.6			
	進捗区分			A	C			
	現状分析・今後の取組	<p>(現状分析) 「製造業」では減少しましたが、「卸売業、小売業」、「医療、福祉」で労働時間が増加しており、全体として前年より労働時間が増加しました。</p> <p>(今後の取組) 長時間労働の削減、年次有給休暇の取得促進や多様な働き方制度の普及促進に向けた課題解決のための各事業所の取組を国とともに支援する等、働き方改革の推進に取り組みます。</p>						
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
職場いきいきアドバンスカンパ ニー認証企業数 (産業労働部調)	目安値	社		40	100	134	167	200
	実績値		—	11	56			
	進捗区分			C	C			
	現状分析・今後の取組	<p>(現状分析) 認証制度周知の取組や企業訪問を行うアドバイザーの補強などにより、昨年度を大きく上回る企業が認証されましたが、目安値を達成できませんでした。</p> <p>(今後の取組) 引き続き積極的な企業訪問を実施するとともに、新たなインセンティブとして、県主催の合同企業説明会への優先参加枠を付与するなど、認証企業の拡大に取り組みます。</p>						

4 人口減少下での地域の活力確保 ～確かな暮らしの実現～



【基本目標4】

人口減少下でも生活に不可欠なサービスを提供できる地域構造を構築することにより、暮らしの安心と地域の活力を確保します。

主な取組

成果

(1) 確かな暮らしを支える地域構造の構築

○生活サービス・交流機能を提供する
小さな拠点形成のためのセミナーや
研究会の開催(H27年度～)

○県営水道事業における地域への貢献

○「信州まつもと空港の発展・国際化に
向けた取組方針」(H28年6月)に
基づく取組開始

今後10年間の取組の「4本柱」

- ①国内路線の拡充
- ②空港の国際化
- ③観光・賑わいの拠点としての活用
- ④空港施設の機能等の強化



○小さな拠点形成

H29.3.31現在38か所

〔 目標
H31
40か所 〕

○過疎自治体(天龍村)の簡易水道に係る
事務の代替執行に着手 (H29年4月)

○高齢者元気応援システム
(ASASystem-KIZUKI) の実証実験に
着手 (H29年9月開始)

- ・対象地区 坂城町
- ・内 容 産学官による水道メーターを活用
した高齢者見守りシステムの運用

○松本空港利活用・国際化推進室設置
(H28年11月)

松本空港から韓国、台湾との間で
国際チャーター便の就航が決定 (H29年3月)
(H29年度から実施)

○10年ぶりに12万人を超える利用者数
(H28年度)

(2) 信州に根付くつながりの継承

○人生二毛作社会づくりの推進

- ・シニア活動推進コーディネーターによるシニアと関係機関等とのマッチング支援
⇒高齢者の居場所づくりや信州こどもカフェの取組等にシニアが担い手として参画
- ・人生二毛作実践事例集を作成
好事例を県内全域に横展開

○「長野県みらいベース」の運用

(H25年4月~)

- ・県民や企業からの寄附により地域の暮らしや活性化を支えるNPO等の活動を支援

○(一財)長野県文化振興事業団に芸術監督団4名配置

【舞台】	串田 和美氏
【音楽】	小林 研一郎氏
【プロデュース】	津村 卓氏
【美術】	本江 邦夫氏

○コーディネーター相談対応件数
3,532件 (H28年度)

- 障がい者や高齢者を介助するシニアの地域
トラベルサポーター
登録者21名 (H29年3月)



サポーター養成講習に参加するシニア

- 「長野県みらいベース」への寄附受領額：21,719千円 (H28年度)

- 「長野県みらいベース」による助成団体数：54団体 (H28年度)
(H25~H28年度累積 81団体)

- 文化芸術による人づくりの推進と文化芸術に親しむ機会の拡大
「K.テンペスト2017巡回公演」等10事業
参加者数：2,677名 (H28年度)

(3) 地域の絆に立脚する「しあわせ健康県」の実現

○「信州ACE (エース) プロジェクト」の推進

- ・SNS、テレビなど様々な媒体を活用した情報発信
- ・ACE弁当、メニューの提供店舗の増加
- ・セミナー開催など健康経営を普及
- ・裾花川ウォーキングロード等の整備



○地域包括ケア体制の構築を推進

地域ケア会議での活発な議論



○在宅医療連携体制の構築を推進

○医師の確保・定着を総合的に実施

○県民の健康づくりの意識の広がり

- ACE ネット参加団体数
197団体(H28.3)⇒211団体(H29.3)
- フェイスブック記事配信件数
28,961件(H28.3)⇒30,673件(H29.3)

○ACE弁当、メニューの提供店舗

852店舗 (H27年度末) ⇒869店舗 (H28年度末)

○健康経営に取り組む企業の増加

- 健康経営優良法人 認定法人
9社 (H28年度から創設)
- 健康づくりチャレンジ宣言企業
64社(H28.3)⇒156社 (H29.3)

○全ての日常生活圏域 (155か所) に地域ケア会議設置

○在宅での看取りの割合 全国5位

(H27:22.4%)

○就業医師の増加

- ドクターバンクにより104名の医師が就業
(H28年度末まで累計)

数値目標の進捗状況

*進捗区分 ●「A」：目安値以上 ●「B」：80%以上100%未満の進捗
 ●「C」：80%未満の進捗 ●実績値なし：今年度実績値が把握できない
 ・進捗割合=(実績値-基準値)/(目安値-基準値) ・目安値：各年の目標値

県民一人当たり 公共交通機関 利用回数 (企画振興部調) 【備考】 県民がバスや鉄道など の公共交通機関を利用 した一人あたりの回数 [現状を上回る数値を 目標として設定]	年度	単位	基準値 (H25年度)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H30年度)	
	目安値	回/人			48.5	49.0	49.3	49.6	49.9
	実績値		48.2	47.5	50.4				
進捗区分				C	A				

健康寿命 健康寿命の算定方法の 指針等(厚生労働科学 研究班)により長野県 が算定 ※国の都道府県別健康 寿命とは算定が異なる 【備考】 日常生活動作が自立し ている(要介護度1以 下)期間の平均 [現状を上回る数値を目 標として設定]	年	単位	基準値 (H25年)	H27年	H28年	H29年	H30年	目標 (H31年)	
	目安値	歳			男性:79.83 女性:84.35 以上	男性:79.83 女性:84.35 以上	男性:79.83 女性:84.35 以上	男性:79.83 女性:84.35 以上	男性:79.83 女性:84.35 以上
	実績値		男性: 79.83	80.45	—				
進捗区分				A	実績値 なし				

進捗状況の分析

- 「県民一人当たり公共交通機関利用回数」については、平成27年3月の北陸新幹線開業の効果もあり、目安値を上回りました。
- 健康寿命については、平成28年の値は基礎資料が未公表のため算定できませんが、平成27年の値を見ると、目安値を上回っています。
- 引き続き、地域に必要な生活サービスや交流機能の確保、地域のつながりの継承、地域の絆に立脚した「しあわせ健康県」の実現に向けた施策を推進します。

重要業績評価指標(KPI)の進捗状況

※進捗区分 ●「A」: 目安値以上 ●「B」: 80%以上100%未満の進捗
 ●「C」: 80%未満の進捗 ●実績値なし: 今年度実績値が把握できない
 ・進捗割合=(実績値-基準値)/(目安値-基準値) ・目安値: 各年の目標値

指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
立地適正化計画を形成する市町村数 (建設部調)	目安値	市町村		0	0	0	0	7
	実績値		0	0	3			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 引き続き、立地適正化計画の策定を予定している市町村に対し、広域的な観点からの技術的な助言や情報提供、計画策定への参画などを積極的に行います。						
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
小さな拠点形成数 (企画振興部調)	目安値	か所		0	4	16	28	40
	実績値		—	0	38			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 拠点形成数は順調に推移していますが、地域的な偏りが見られます。今後は取組事例や支援制度などをまとめて情報提供を行うとともに地域振興局を核として市町村や地域住民の取組を支援します。						
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
地域公共交通網形成計画を策定する市町村数 (企画振興部調)	目安値	市町村		4	8	12	16	20
	実績値		0	17	26			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 計画策定を促進するため、引き続き、市町村に対する助言・支援に取り組みます。						
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
道路構造物点検実施率 (建設部調)	目安値	%		31.8	55.2	78.7	98.0	100
	実績値		19.4	29.4	60.2			
	進捗区分			B	A			
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) H29年度以降も引き続き計画的に進めます。						
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
楽園信州空き家バンク物件登録件数 (企画振興部調)	目安値	件 (累計)		550	600	650	700	750
	実績値		—	1,078	1,337			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 未活用の市町村に対する呼びかけを通じ、物件登録数の維持・増加に取り組むとともに、移住セミナーや相談窓口で空き家バンクを周知し、利用者増加を図ります。						

指 標 名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
定住自立圏形成数及び連携中 枢都市圏形成数 (企画振興部調)	目安値	圏域		6	6	6	6	7
	実績値		4	7	7			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 引き続き、圏域の形成や圏域の取組の強化・充実に向けた支援を行います。					
指 標 名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
人口千人当たり消防団員数 (危機管理部調)	目安値	人		16.85	16.93	17.02	17.11	17.20
	実績値		16.77	16.84	16.85			
	進捗区分			B	C			
	現状分析・今後の取組		(現状分析) 人口千人当たりの消防団員数は増加傾向にありますが、目安値には至りませんでした。 (今後の取組) 女性消防団員を始めとする消防団員の増員に向けて、信州消防団員応援ショップ推進事業による地域における消防団員を支援する意識の醸成など、消防団充実強化支援事業を推進します。					
指 標 名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
地域おこし協力隊員数 (企画振興部調)	目安値	人		165	219	230	235	240
	実績値		112	205	280			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 引き続き、隊員の活動ステージに応じた研修会を開催するほか、情報交換や相談等を行うサポート体制の構築により隊員の受入を支援します。					
指 標 名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
人口千人当たり公民館での地 域の担い手づくりに関する学 級・講座参加者数 (教育委員会事務局調)	目安値	人		98	100	101	102	102
	実績値		97	98	100			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 生涯学習推進センターと連携し、市町村の公民館講座を企画運営する公民館主事の資質向上を図ることにより、地域住民の学習意欲の向上を支援します。					
指 標 名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
地域づくり団体数 (企画振興部調)	目安値	団体		147	150	153	156	159
	実績値		144	144	144			
	進捗区分			C	C			
	現状分析・今後の取組		(現状分析) 新規で6団体が加盟しましたが、会員の高齢化等の理由により6団体が退会し、実績値は昨年度と同数に留まっています。 (今後の取組) 今後は、地域づくりの主体的な活動のすそ野を広げ、地域づくり団体の活動を更に活性化させるため、ホームページやフェイスブックを活用した情報発信・情報交換、地域・業種を超えた「出会いのひろば」交流事業の実施などの支援を行い、地域づくりネットワークの活動の活性化による加盟団体の増加を図ります。					

指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
地域スポーツクラブに登録している会員の割合 (教育委員会事務局調)	目安値	%		11.0	11.3	11.5	11.8	12.0
	実績値		10.8	9.9	10.1			
	進捗区分			C	C			
	現状分析・今後の取組	<p>(現状分析) 全国的にも運動・スポーツ実施率が低下傾向にあり、運動・スポーツを行う時間的余裕がないこと等の理由により、スポーツに関心を持っていても始める第一歩を踏み出せずにいる人が多く、目安値に達しませんでした。</p> <p>(今後の取組) より気軽に参加できる身近なスポーツ環境の整備を進めることにより、スポーツ無関心層も含めた多くの県民の参加を促す取組を推進します。</p>						
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
アーティスト・イン・レジデンス (※)による交流人口 (県民文化部調)	目安値	人		15,000	20,000	25,000	40,000	55,000
	実績値		15,000	13,535	25,748			
	進捗区分			C	A			
	現状分析・今後の取組	<p>(今後の取組) H29はモデル事業3年目の集大成として、北アルプス国際芸術祭2017を開催し、36組のアーティストを招へいし、作品を展示しました(H29年6月～7月末)。アートの方で大町市の魅力を掘り起し、人口定着に繋げていくとともに、アーティスト・イン・レジデンスの県内他地域への普及を図ります。</p>						
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
介護保険サービスを必要としない高齢者の割合(65～69歳) (介護保険事業状況報告(厚生労働省)をもとに健康福祉部算定)	目安値	%		97.7	97.7	97.7	97.7	現状維持
	実績値		97.7	97.7	97.7			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組	<p>(今後の取組) 引き続き、地域の介護予防事業に参画できるリハビリ専門職の育成などにより、介護予防の普及・促進に向けた市町村の取り組みを支援します。</p>						
指標名	年度	単位	基準値 (H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	目標 (H29年度)
特定健診受診率 特定健康診査・特定保健指導実施状況(厚生労働省)	目安値	%		53.7	57.8	61.8	65.9	70.0
	実績値		49.6	51.3	52.5			
	進捗区分			C	C			
	現状分析・今後の取組	<p>(現状分析) 市町村国保(44.2%:前年比+1.1%)、協会けんぽ(45.8%:同+1.8%)、健康保険組合・共済組合等(70.4%+1.2%)といずれの保険者も増加していますが、目安値には達しませんでした。</p> <p>(今後の取組) 保険者協議会と連携した統一キャンペーンや、「健康経営」の普及による企業の受診促進等に取り組みます。</p>						
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
地域包括ケア体制整備に取り組む日常生活圏域数 (健康福祉部調)	目安値	圏域		104	130	155	155	全日常生活圏域
	実績値		125	150	155			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組	<p>(今後の取組) すべての市町村の日常生活圏域で地域ケア会議が設置されました。今後は、地域ケア会議の充実を図るための研修、情報交換の場の設置に取り組みます。</p>						

指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
入退院時の情報共有の仕組み が策定された二次医療圏数 (健康福祉部調)	目安値	圏		2	5	10	10	全二次 医療圏
	実績値		0	2	4			
	進捗区分			A	B			
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 平成29年度中の全圏域策定に向けて、引き続き未策定圏域の関係団体と連携を図りながら、ルール策定に取り組みます。						
指標名	年度	単位	基準値 (H24年)	H26年	H27年	H28年	H29年	目標 (H30年)
人口10万人当たり医療施設従 事医師数 医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労 働省)	目安値	人		219	223	226	230	
	実績値		211.4	216.8	—	H30年の目標は次期保健医療計 画策定にあわせて設定予定		
	進捗区分			C	実績値なし			
	現状分析・今後の取組	(現状分析) 現時点でH27年末の実績値はありませんが、直近のH26年末の実績 値では216.8人と目安値には届かないものの増加しています。これは、 ドクターバンク事業や県内医療機関における医師確保の取組の成果 と考えられます。 (今後の取組) 引き続き県内医療機関等との連携を図りながら、医師確保に取り組み ます。						
指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	H30年	目標 (H31年)
人口10万人当たり就業看護師 数 衛生行政報告例(厚生労働省)	目安値	人		1,224.7	1,227.1	1,229.5		
	実績値		1,222.3	—	1272.9	H30年の目標は次期保健医療計 画策定にあわせて設定予定		
	進捗区分			実績値なし	A			
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 引き続き、新規養成者の確保、離職防止、再就業促進に取り組み ます。 ※隔年調査のため、H27年は実績値なし						
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
介護職員数 (健康福祉部調)	目安値	万人		3.6	3.8	4.0	4.1	4.2
	実績値		3.4	3.5	—			
	進捗区分			C	実績値なし			
	現状分析・今後の取組	(現状分析) 第6期高齢者プラン(H27-H29)において都道府県単位の介護 人材需要推計を実施しましたが、H27供給推計3.5万人は需要推 計3.6万人を満たすには至っていません。 (今後の取組) 引き続き質・量の両面から介護人材の確保を図ります。						

地方創生関連交付金事業の実施結果 (各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

指標値 ≤ 実績値 ……「達成」
指標値 > 実績値 ……「未達成」

○地方創生加速化交付金

No	交付対象事業の名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標(KPI)	28年度(年)の状況			今後の取組の方向性、理由等
				目標値	実績値	達成・未達成	
1	「山の日」制定を契機とした山岳高原の魅力発信事業	42,340,000	観光消費額 (観光地利用者統計調査) 「信州 山の月間」中の山間連行事への参加者数 県内大学・短期大学の入学定員未充足数 県外からの県内大学志願者数 Uターン就職率	2,974 5 261 9,000 40	集計中 12 -3 10,223 集計中	- 達成 達成 達成 -	引き続き観光資源として山を活用し、国内外から誘客を促進するとともに、山岳文化の継承や安全な登山を促進します。
2	信州で“学ぶ・暮らす・働く”魅力発信事業	49,174,116	調査、研究、実証事業による産業モデルの創出	3	3	達成	引き続き、長野県の健康長寿の強みを活かしたヘルスケア産業の創出・振興に取り組みます。
3	ヘルスケア産業振興事業	18,435,489	RESAS普及研修参加者 RESASマスターの育成	1,000 20	1,058 実績値なし(※)	達成 -	引き続き、長野県の健康長寿の強みを活かしたヘルスケア産業の創出・振興に取り組みます。 (RESAS活用促進事業) 事業は終了しますが、引き続き、施策構築にRESASを活用するとともに、高校の授業での活用や出前講座により、RESASの活用を促進します。 ※RESASマスターについては、国の認定制度が構築されなかつたため実績値なし
4	【RESAS活用】【プロ人材】RESAS活用促進事業、プロフェッショナル人材戦略拠点	74,010,148	戦略拠点による企業相談件数 戦略拠点によるプロ人材のコーディネート(民間人材ビジネス事業者への人材情報の提供)件数 連携する民間人材ビジネス事業者によるマッチングの成約件数	200 50 15	306 317 40	達成 達成 達成	(プロフェッショナル人材戦略拠点) 県内企業の攻めの経営に向けた意欲を喚起し、専門人材の活用による企業の経営革新を実現するため、引き続き企業と県内外の専門人材のマッチング支援や情報提供等を実施します。
5	DMO構築による山岳高原観光推進事業	128,784,219	観光消費額 延べ宿泊者数	7,180 1,956	7,320 1,781	達成 未達成	引き続き、観光地域づくりのかじ取り役となるDMOの中核人材を養成し、DMOの構築を支援します。

No	交付対象事業の名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標(KPI)	28年度(年)の状況			今後の取組の方向性、理由等
				目標値	単位	実績値 達成・未達成	
6	恋するNAGANO WINE振興事業	27,279,235	県内でのワイン醸造量 ワインナー数	5,103 31	KL 件	集計中 33 達成	ワインナー数は順調に増えており、ワイン醸造量も増加傾向にあるため、引き続きワインナーの開拓支援や県産ワインの情報発信などのワイン振興を推進します。
7	アーテミス・イン・レジデンスin信州モテル事業	7,206,569	AIR事業によりその地域に來訪する者の数	20,000	人	25,748 達成	平成29年度は、モテル事業3年目の集大成として北アルプス国際芸術祭2017を開催し、36組のアーテミスの作品を展示します。アートの力で大町市の魅力を盛り起し、人口定着に繋げることに、アーテミス・イン・レジデンスの県内他地域への普及を図ります。
8	塩尻・松本・安曇野地域における「しごと」×「ひと」好循環創出事業	18,477,430	県戦略拠点によるプロフェッショナル人材のマッチングコーディネート件数	50	件	317 達成	県内企業の攻めの経営に向けた意欲を喚起し、専門人材の活用による企業の経営革新を実現するため、引き続き企業と県内外の専門人材のマッチング支援や情報提供等を実施します。
9	信州創生人材確保・地域活力創出生涯のまら事業	32,891,304	専門職種の募集を行い、採用ができた市町村の割合 県内全10圏域での人生二毛作ネットワーク会議の設置及び開催	65 10圏域 26回開催	% -	70 10圏域 15回 達成 未達成	引き続き、県ホームページ上での採用情報等の情報発信やナーズバンクの活用等で市町村と連携し、保健師確保に努めます。また、高齢者が長年培った経験や知識を活用し、積極的に就業や社会活動等に参加できる社会(人生二毛作社会)づくりを推進します。
10	多様な働き方普及促進事業	32,277,436	アドバンス認証企業数 新規雇用障がい者数	100 25	社 人	56 15 未達成 未達成	アドバンス認証取得企業に対し、人材確保のための新たなインセンティブを付与する等認証企業の拡大に取り組みとともに、セミナー等を通じて障がい者と雇用に対する企業の理解促進に向けた取組を進めます。
11	移住交流(地域しごと支援センター)推進事業	18,661,207	県外から自らの意思により本県に転入した者(移住者数) 県の相談窓口における移住相談件数	2,300 7,558	人 人	2,084 7,952 未達成 達成	三大都市圏での移住相談を継続し、効果を検証しながら相談体制の充実を図ります。
12	ひとり親家庭の移住・定住推進事業	8,059,999	反響・照会等 お試しツアー・現地採用面接参加 実際移住	100 10 4	件 家族 世帯	162 9 2 達成 未達成 未達成	引き続き、市町村と協力した相談会の開催や県就業支援員による職業紹介等により、ひとり親家庭の移住・定住を支援します。また、市町村や民間団体等により構成される地域プラットフォームを県内10圏域に構築・運営し、子どもの居場所の普及・拡大を図ることで、ひとり親家庭等が安心して暮らせる生活環境を確保します。
13	みらいの「ひと」と「しごと」を創る信州フューチャーセンター事業	8,726,530	ながの創業サポートオフィスでの相談件数	500	件	509 達成	引き続き創業に関する専門家の派遣等を実施し、県内での創業を支援します。

No	交付対象事業の名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標(KPI)	28年度(年)の状況				今後の取組の方向性、理由等
				目標値	単位	実績値	達成・未達成	
14	外国人旅行者倍増に向けた誘致強化事業	61,800,000	外国人延宿泊者数	120	万人	113	未達成	増加する訪日外国人旅行者の本県への誘客促進のため、東アジア・東南アジアを主なターゲットとして、引き続きマーケティングに基づく戦略的な誘客促進を実施します。
			外国人旅行消費額	155	億円	147	未達成	
15	木曾観光振興対策事業	30,000,000	木曾地域の宿泊客増加数	10,000	人	22,000	達成	御嶽山噴火災害前の水準へ戻すため、引き続き木曾地域の観光の復興・振興対策を行います。
16	「北アルプス連携自立圏」推進事業	9,848,300	圏域全体の活性化に取り組む圏域数	8	圏域	8	達成	引き続き、広域連携に対する国の支援制度が適用されない地域で連携事業を実施する市町村を支援します。
			フェア入場者数	3,000	件/県	4,686	達成	
17	「いいね！地方の暮らしフェア」開催事業	5,083,799	フェア終了後3ヶ月間再相談件数	30	件/県	0	未達成	今後も「日本創生のための将来世代応援知事同盟」13県が連携し、地方の魅力を発信するとともに、本県への移住促進を図ります。
			本フェアをきっかけとする移住者数	3	人	0	未達成	
18	「忍者」のマーケティング・セールス推進事業	20,000,000	外国人旅行者宿泊者数	120	万人	113	未達成	事業は終了しますが、引き続き「忍者」も活用してインバウンドを推進します。
			外国人旅行消費額	155	億円	147	未達成	
19	航空機産業集積化による地域イノベーションの創出	4,594,320	航空機産業に取り組む県内企業	45	社	57	達成	引き続き、航空機システム拠点形成を進めるとともに、航空機産業の全県への波及に努めます。
			観光消費額(観光庁統計)	7,180	億円	実績値なし	-	
20	文化芸術を活用した賑わい創出事業	7,904,000	移住者数(県調査)	2,300	人	2,084	未達成	事業は終了しますが、(一財)文化振興事業団に芸術監督団を配置し、引き続き、国内外に発信できる魅力ある文化プログラムを企画・実施します。
			文化芸術活動に参加した人の割合(県調査)	70.0	%	70.1	達成	

地方創生加速化交付金

区分	件数	構成比
達成	21	60.0
未達成	14	40.0
実績値なし	2	-
合計	37	100

※構成比は実績値が把握できる指標に占める割合です

集計中 3

○地方創生推進交付金

指標値≦実績値 ……「達成」
 指標値>実績値 ……「未達成」

No	交付対象事業の名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標(KPI)	最終年度(年)の目標			28年度(年)の状況			今後の取組の方向性、理由等
				年度(年)	目標値	単位	目標値	実績値	達成・未達成	
1	人生を楽しむ「信州・働き方改革」推進事業	8,955,912	短時間制社員制度導入企業割合 一般労働者一人当たりの年間総実労働時間 男性の育児休業取得率	H30年度	24	%	12.7	12.1	未達成	企業訪問による多様な働き方制度導入に向けた具体的な提案や、専門家派遣による制度導入支援を実施するとともに、男性の育児休業取得等、仕事と生活の両立に向けた啓発を実施します。また、ポータルサイトにより、学生や保護者に対して県内就職支援に関する情報を効果的に発信する等、Uターン就職の促進に取り組みます。
2	学びと働きを連携させた信州創生のための新たな人材育成推進事業	32,104,125	事業対象校(構展開4校)の県内就職率の合計 事業対象校(構展開2校)の進学する生徒の中で、長野県にUターンを希望する生徒の割合の増加率	H30年度	350	ポイント	325	337	達成	校内の授業と地元企業での実習を組み合わせた「デュアルシステム」を導入し、産業界が求める人材を育成します。
3	航空機産業集積化による地域イノベーションの創出	23,086,545	事業対象校(構展開4校+構展開2校)の中で、地元企業を理解したと考える生徒の割合 航空機産業に取り組み、県内企業 大学・企業等誘致	H30年度 H32年度	90.0 100	% 社	66.0 45	集計中 57	- 達成	引き続き、航空機システム拠点を形成するとともに、全県で航空機産業へ参入する企業の増加や誘致を実施します。
4	中・高校生によるRESASを活用した地方創生のための探求型学習推進事業	1,476,480	県内出身学生のUターン就職率 事業実施校のうち「地方創生☆政策アイデアコンテスト」に応募する学校数	H30年度	45.0	%	39.4	調査中	-	平成28年度は、松本県ヶ丘高校において事業を実施し、同校から複数組が「地方創生☆政策アイデアコンテスト」に応募しました。このうち2組が地方予選を通過し、さらに、1組が最終審査の結果、コンテストの最高賞である地方創生担当大臣賞を受賞しました。 今後は、松本県ヶ丘高校での取組を他の学校へ構展開し、RESASを活用した探究型学習を推進します。

地方創生推進交付金

区分	件数	構成比
達成	3	42.9
未達成	4	57.1
実績値なし	1	-
合計	8	100

※構成比は実績値が把握できる指標に占める割合です

集計中 2